

学校教育目標	☆自分らしさを大切に、互いに思いやり認め合いながら共に伸びていく子どもの育成 (知)自分でよく考え、主体的に活動し、粘り強く課題解決をしていく力を育てます。 (徳)自分や友達を大切に作る心豊かな子を育てます。 (体)自他の生命を尊び、自らの健やかな体をつくる力を育てます。 (公)まちに学び、まちに働きかける力を育てます。 (開)日本と世界の社会や文化・歴史を学び、違いや共通点を理解していく力を育てます。				
	学校概要	創立 19 周年	学校長 中村 尚	副校長 藤村 和人	2 学期制 一般学級: 14 個別支援学級: 3
児童生徒数: 455 人		主な関係校: 南戸塚小 南戸塚中			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	南戸塚中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ○協力し、粘り強く問題解決する力 ○言語能力 ○自己肯定感・自己有用感の醸成 	南戸塚中 南戸塚小 下郷小	<p>他の人や社会に役立つ人を目指して、よく考えて行動し、たくましく生きる子ども</p> <p>素直で、協調性がある特長を生かし、地域社会との協働活動を取り入れながら、自分の力を他の人や地域社会に役立てようとする気持ちを育みたい。 基礎的・基本的な資質・能力(スキル)を養いつつ、継続してじっくり粘り強く取り組むことができる力を育てたい。 自分の学びは自分でつくる(主体的学習)、自分の学校は自分たちでつくる(自治意識)という自我意識を育てたい。</p>

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員の創意と協力により、活気と魅力ある学校づくりを推進します。 ○児童が自分自身の大切さに気付き、自他の生命を尊重し、豊かな心を持つことができるよう指導します。 ○児童が、よく考え、主体的に学習する力を身につけるように指導します。 ○粘り強く課題解決をしていく力を育てます。 ○あらゆる教育活動を通し、児童の好ましい人間関係を築きます。 ○保護者・地域の人々の思いや願いを積極的に学校教育に生かし、開かれた学校づくりを進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①言語活動の充実を図り、分かる楽しい授業を通して、主体的に学習する意欲を育てます。②算数科を重点に、授業を通して既習事項の定着を図り、思考力や表現力を育てます。③スキルタイムの学習を継続し、漢字の読み書きや計算などの基礎的な力を定着させます。
豊かな心	①道徳を人権教育の要とし、授業の充実のため、道徳の授業公開を行います。②「千羽鶴を届ける活動」「いいところみつけ」を実施、継続することで、子どもたちが心を通わせられる雰囲気を作ります。③主体性を育み、自己肯定感を向上させるため異学年集団活動など体験活動を充実させます。
健やかな体	①家庭との連携を図り児童が自分自身の健康について考えられるようにします。また、生活習慣の見直しとともに運動に親しむ資質を育てます。②一校一実践運動に「縄跳び」を取り上げ、長縄大会を通して体力の向上に励みます。③栄養教諭と連携しながら食育に関する授業を行います。
児童・生徒指導	①児童会指導の1つであるあいさつを目標に取り組み、校内だけでなく校外や家庭でもあいさつができるようにします。②「下郷小学校のやくそく」を全職員で共通理解し、児童が意識して生活できるように支援します。③縦割り活動を充実させ、子ども同士のかかわりが豊かになるように支援します。
特別支援教育	①子どもの抱える今日的な課題について校内研修を行い、職員で共通理解を図り、子どものニーズに即ち寄り添っていくようにします。②特別支援教室を活用して、個に応じた学習指導・支援をします。③重点研究会とも連携し、授業のユニバーサルデザイン化について理解し、実践していきます。
保健管理	①保健指導を月1回実施し、全校で健康づくりに取り組みます。②学校保健委員会を中心に健やかな体、健やかな心の育成ができるよう保護者を含め取り組みます。③保健だより等で家庭へ情報を発信したり、保健的な週間を設定したりして、自ら進んで健康づくりを実践します。
	a22
	a23
いじめへの対応	①月1回定期的にいじめ防止委員会を実施し、担任が専任と連携をとりながら、事実や経過の確認を丁寧に行います。②児童がSOSを発信しやすいようにいじめ防止アンケートとったり、いじめの防止研修を行ったりし、些細な変化を見逃さない体制作りをします。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①日常的に授業を見せ合うことを通して、授業改善、児童指導双方の実践力を高めていきます。②メンターチームで年間指導計画をたて個々の職員がそれぞれの段階において成長することをめざし、情報交換や意見交換をします。③ミラ임을活用したり会議時間の短縮を行ったりして、子どもの育成に関わる時間を確保します。